

痛みセンター

■ スタッフ

センター長 丸山 一男
副センター長 横地 歩, 明田 浩司

医師 常勤	4名
非常勤	2名
整形外科専門医 (兼任)	1名
麻酔科専門医 (兼任)	4名
ペインクリニック専門医 (兼任)	4名
精神科専門医 (専任)	1名
小児科専門医 (兼任)	1名
漢方専門医 (兼任)	1名
看護師 (兼任)	2名
薬剤師 (兼任)	1名
管理栄養師 (兼任)	1名
理学療法士 (兼任)	2名
作業療法士 (兼任)	1名
鍼灸師 (兼任)	3名
臨床心理士 (兼任)	2名

■ 特色・診療対象疾患

痛みの患者さんを、多方面から評価し、学際的な治療を行うことを目標としています。痛みは、様々な身体疾患や心理状況に付随して現れる、ありふれた症状ですが、主観的なものであり、診断や評価、そして治療が難しいことがあります。

腰痛、肩こり、頭痛、各種神経痛、原因が分からない痛み、けがや病気が治ったあとに遷延する痛みなど、主に慢性的な痛みを治療対象としています。

1. 当科の特色

- 本人とご家族を中心とするチーム医療を、多科・多職種で行います。各専門領域と提携し集学的で統合的なアプローチを目指します。
- 痛みの身体的、精神的、社会的な相互関係を多方面から評価します。
- 事例によっては、心理的アプローチを模索し、患者さんごとに個別の対応を検討します。
- 理学療法や作業療法を積極的に行います。
- 症例に応じ、西洋医学のみならず、漢方や鍼灸といった東洋医学の適用を検討します。

2. 主な診療対象疾患

- 頭痛、三叉神経痛、非定型顔面痛、頸肩腕症候群、肩関節周囲炎、肋間神経痛、帯状疱疹後神経痛、腰椎疾患、下肢痛、坐骨神経痛、四肢血行障害による痛み、術後疼痛症候群、複合性局所疼痛症候群、癌性疼痛、等。

■ 活動実績

当センターは、2019年10月1日に発足し、その後、2020年10月1日に、「集学的痛みセンター」としての認定を取得しました（認定番号 第B-02号：厚生労働省 慢性の痛み政策研究事業 政策研究班）。

現時点では、麻酔科外来を受診後、センターでの対応を決めています。状況は推移中です。

金曜日の外来を中心に活動を展開中です。

1. 治療実績

- 今年度、理学療法師又は臨床心理士等が医師等と共同対応した症例数は212例です。
- 多職種でのカンファレンスを継続的に実施しており、治療に役立てています。

2. 教育活動の実績

- 三重県第3回慢性疼痛診療研修会主催。(2020年12月6日。)
- 三重県第4回慢性疼痛診療研修会主催。(2021年2月27日。)

3. 公的研修の修了、臨床研究等の実績

- 厚労省「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る研修会」。
- 厚労省「慢性疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会(日本ペインクリニック学会共催)」。
- 厚生労働行政推進調査事業費補助金「慢性の痛み政策研究事業」の班会議に出席し、その研究活動に参画しています。

■ 今後の展望

院内での活動に加え、慢性疼痛診療研修会を通じ、慢性疼痛医療のネットワーク作りを開始しています。

<http://www.....mie-u.ac.jp/...../>